

由利

天理教由利分教会
郵便番号 015-0862
由利本荘市小人町159
電話 0184-22-0707
FAX 0184-22-1235
ichidaime-yuriyoshil@outlook.com

立教185年 令和4年

2月号



婦人会創立記念てをどい学び

一月

一ヶ月間の主な歩み

一月	一日	コロナお願いづとめ	一月	五日	教区予算準備会
	二日	支部婦人会例会（九時半）		九日	北蒲原分教会春季大祭
	三日	婦人会勉強会		二十日	大教会春季大祭
	四日	婦人会創立記念十二下り		二六日	立教一八五五年春季大祭
二月	九日	役員会（15時）		三〇日	由利婦人会
	十日	由利分教会役員、理事會議		一日	教区主事会（リモート）
	十一日			二日	全体会議（リモート）
	十二日				
	十三日				

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正明

今月の言葉は道友社発行の「眞実の道」道を啓いた先人・先輩の教話集「より抜粋します。」

四十年後の目覚め

四十年前には、アリに砂糖に集まつてくるように、多くの人が私のおさづけを頂くと治ると言うて集まってきた。それが素裕(すあわせ)一枚の貧乏布教師である。今日、分教会長とはなつてみたが、誰があの先生のおさづけでなくてはと言うて来てくれる人があるのだ。

明らかに、これは四十年の退歩としか見られぬ。

四十年間、私は道通りつつ、少しも向上しなかつた。一日一日と、世界並みに流れていた。

道の眠りだ、太平楽な道の眠りだ。口で言つて、自分には何も分からな

い道の眠りだ。
それがやつと、申し訳なかつたと
気づいた。笑われても仕方がない。
確かに今年の九月十二日までは、私は
は眠つていた。それはなんだ?

四十年の間、私の信徒方は耳がタコになるほど私から身上かりもの

理を聞かされたであろう。私もまた、あごがだるくなるほど説いてきた。
四十年間の経験のおかげで、話は確かにうまいとじぶんでも思えるほど

であるが、いま考えてみると、あれほどまでに説いていたこのかりもの理は、決して私に分かつていなかつたのだ。布教開始後の四十年目、九月十二日に私は初めて目が覚めた。

二月五日(土)

天理教婦人会創立記念日の集い開催

婦人会創立記念日(一月二十八日)にちなみ集いを開催させて頂きました。天理教婦人会は親神様がこの道を信じて通る女性の心の成人の場としてはじめよとおおせられた会であります。その事を心に治め、参拝のち、北洋文部長のメッセージ拝読、

立教一八五年春季大祭参拝 教祖の歩みを偲んで

立教一八五年一月二十六日、御本部の春季大祭に当教会の会長さん、奥さん、佐々木由正さんが参拝しました。

おつとめ終了後は、中田善亮表棟梁から講話を聞かせて頂きました。

生まれてから五十日、誰の顔を見ても、ニコニコ笑うているのだ。
(次号につづく)

十二下りてをどりをつとめさせて頂きました。メッセージでは常日頃から教えを学びひながたを、実践する事が大切であり、感謝と喜びの心をもつてご恩報じの日々を歩ませて頂きました。その後、茶菓を頂きながらそれぞれの思いをねりあい終了しました。

会長さんを救い出せ

矢島町分教会除雪ひのきしん

由利部内で一番豪雪地帯にある矢島町分教会の除雪に、部内会長さん、当教会の青年さんで行かせて頂きました。矢島の会長さんにこれほど喜んでもらえることはありません。



上が英海君、下が晴大君の絵です



今年も日々雪が降り続けておりますが、皆さんも除雪の際は身体(腰など)にお気を付けください。

英海君、リトルマガジン

掲載おめでとー!

少年会発行のリトルマガジン二月号に、利翔布教所二男の佐々木英海君の絵が掲載されました。おめでとうございました。

また平成三十年四月号に長男の晴大君の絵も掲載されました。今後が楽しみです!

本部へのおつなぎとして続けさせて頂いている「感謝の心を日々に」の今年度分を三月十三日集めさせて頂きます。何卒御協力宜しくお願ひ致します。

由利分教会百二十周年活動

ようぼく信者の活性化、
おたすけの実践を目指して!
おさづけカード集計

一月

73枚

百二十周年まであと・・
統計
686枚

七十七日!

婦人会「感謝の心を日々に」

の御供えについて

3月祭典役割表

神殿講話 由利道分教會長

今年も大変な大雪で、由利会長さんのお声
で、何度も除雪に来て頂きました。もう少しの
辛抱です、有り難うございました。春よ早くこ
い！です。

部内だより